

令和 6 年 8 月 18 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム 久米の家

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 6 年 7 月 29 日（月） 15 時 30 分～16 時 30 分まで

開催場所…グループホーム 久米の家 ホール

出席者

事業所	2 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	3 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	0 人
知見を有する者	0 人	その他（併設施設看護師）	1 人

議事

◆近況のホームの様子報告（看取り介護・7/9 の大雨災害・コロナ感染についての報告）

○活動報告と現状報告

利用者 8 名（女性 6 名 男性 2 名）

年 齢 平均 86 歳

介護度 介護 1（2 名） 介護 2（2 名） 介護 3（3 名）

介護 4（1 名） 介護 5（0 名） 平均 2.0

＊ 看取り介護にて 7/6 に看取らせて頂く。現在 1 部屋空あり。

職員 管理者 1 名 ケアマネージャー 1 名

介護職員 10 人（常勤 7 人 非常勤 3 人・短縮時間制度利用 2 名）

介護福祉士取得 9 人

認知症基礎研修 1 人

調理職員 4 名（非常勤 4 名）

＊ 6 月の給与より昇給と介護職員処遇改善手当増額あり

調理職員も昇給あり

・行事やレク等報告

パワーポイントで写真を使って発表する

・ヒヤリハット報告

ヒヤリハット種類	6 月	7 月
転 倒	2 件	2 件

6 月、7 月とも同じご利用者様で転倒に繋がる時が

1. 居室からトイレに向かわれる時
2. 食事中大儀になられご自分でソファに移動される時

対策

1. ベットからの起き上がり時にいち早く気付ける為にタオルケット等に音になるように設置。
2. ご本人のくつの検討
3. 食事を2部制にし、ご本人が自分で移動される時に対応できる体制をつくる。

○コロナ感染の対応 6/11～6/22 職員1名 ご利用者3名

コロナ感染の対応や状況を説明、報告する。久しぶりの感染対応で「LINE WORKS」で対応を共有しクラスターを予防出来た事を報告する。

○事故報告 夜間の転倒骨折

右大腿骨転子部骨折となり車椅子での生活になってしまう。現在でも転倒された事を忘れられ動かれる事が多く再転倒防止に職員間で声を掛け合っで見守りをしている事を報告する。

○看取り介護の報告

平成27年入居された98歳女性を7/6 朝7時に看取らせて頂いた経過を報告する。この時も看取り時の細かいケアの変更も「LINE WORKS」で共有できケアに活かした事を経過と共に報告する。

○7/9 大雨災害の避難状況報告

グループホーム中庭の溝から氾濫し中庭が浸水しかけ、併設施設ほっとへ避難した事を報告する。避難にあたり実際に大変だった点や困難だった点をBCP計画に早速組み入れ計画の改正を行った事を報告する。浸水は今まで起きたことがなく（場所的に）想定外であったが改善の機会となった。

○委員会活動

虐待防止委員会・身体拘束排除委員会・業務継続委員会第1回目の話し合いがあった事を報告する。

意見交換

（地域の方より）

- ・法吉町は道路の冠水が多く避難所に向かう方が危険が伴ない隣の2階建ての施設に避難したのは正解だった。町内も高齢者が多く避難経路の見直しを行わないといけない。課題が多い地区です。
- ・看取りなど誰もが高齢者になって考えなければならない問題である。報告を聞いて穏やかな看取りでよかったと思った。
- ・転倒事故も自分で動いている限りついて回る問題である。手術を選択しなかった理由を聞かれお答えする。

（事業所より）

- ・事業所では、ご縁を大切に出来れば看取りまでしたいと考えているが医療依存が高いと難しい事もあるが、出来るだけ希望された方には行っている。久しぶりの看取りで経験のない職員にも実践を通して勉強させて頂きました。
- ・今回いろんな場面で「LINE WORKS」がリアルタイムな情報共有につながり職員が同じ想いや方向性で仕事が出来た。今後はご家族や多職種連携にも活用して行きたい。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	☐
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	☐